

静岡県立湖西高等学校

令和3年度 第1回学校運営協議会 概要

1 開催日時 令和3年4月21日(水)13:15~15:15

2 開催場所 静岡県立湖西高等学校 会議室

3 出席者 全9名(順不動)

- (1)湖西市教育委員会 学校教育課長
- (2)東海旅客鉄道株式会社 鷺津駅長
- (3)プライムアースEVインテグレーション株式会社総務人事本部 EA、湖西市ものづくりコーディネーター
- (4)湖西市表鷺津自治会 会長
- (5)湖西高等学校 PTA 会長
- (6)湖西高等学校 校長
- (7)湖西高等学校 副校長
- (8)湖西高等学校 教頭
- (9)湖西高等学校 事務長

※豊橋創造大学短期大学部教授も委員として任命されているが、当日所用のため欠席

4 次 第

- (1)開会のことば
- (2)校長あいさつ・・・・・・・・・・詳細は5議事録(1)参照
- (3)自己紹介・・・・・・・・・・詳細は3出席者参照
- (4)会長・副会長の選出・・・・・・・・・・会長が選出され、副会長を本校PTA会長とした。
- (5)学校経営計画について・・・・・・・・・・詳細は5議事録(2)参照
- (6)授業参観・・・・・・・・・・詳細は5時間目の授業を参観
- (7)学校運営に関する意見交換・・・・・・・・・・詳細は議事録(3)(4)参照
- (8)諸連絡・・・・・・・・・・次回の協議会は9月中に実施予定。
- (9)閉会のことば

3 議事録

(1) 校長あいさつ

- ・コミュニティスクール立ち上げたことで、今後いろいろな形でかかわっていただき、支援いただきたい。ご意見だけでなく、要望や提案を頂きたいと思う。
- ・今年度は昨年度と比べ、最初から1年生が活動できている。初期指導において、人間関係づくりがうまくいっているためか、明るい顔で登校している。
- ・コミュニティスクール立ち上げに際し、グランドデザインを作成した。その中で、地域での学びを重要視し、ゆくゆくは地域のセンター的役割として担っていきたい。そのため、外とのつながりを通し、生徒の育成に努めていく予定である。
- ・総合学習の時間に「湖西学」を学ぶ時間を設定し、また来年度湖西市50周年にもあわせて、その中で湖西検定を作成していく。
- ・家庭科においても、授業の中で湖西の特産物の研究や料理法等研究を始めている。
- ・クラス減で空いた教室を有効に活用していくなど、公立高校も魅力化を図り、生徒の確保に努めたい。
- ・学校の広報として、昨年度選出したスクールキャラクターに名前をつけることをイベントとしたい。それ以降もキャラクターにまつわることでイベントを行い、学校への活力としていきたい。
- ・理科の教員が育ててきているウーパールーパーが子供を産んだため、その子供を配布していくことで、地域との結びつきや学校の広報をしていきたい。

(2) 学校経営計画説明

① 校長が、教育目標、目標具現化の柱、本年度の取組について説明した。

② 委員からの感想・意見

- ・いろいろな仕掛けをしているのがよくわかる。子供の数や定員が減った上、教員の数が少なくなって大変だとは思いますが、ぜひ部活動の面でも頑張り、学校に活気を与えてほしい。
- ・地域の連携をしっかりと取ってもらいたい。例えば新居高校と連携を取り、生活指導の基準を合わせて指導するなどしていく中で、生徒の質を高めてほしい。
- ・地元との連携を多く大きく取り上げて頂きありがたい。ぜひ連携をお願いしたい。1つ1つじっくりと取り組み、焦らず実績を積み上げてほしい。

(3) 意見交換(委員より)

- ・小中学校との交流については、高校と今まで垣根があった。これから連携していくとして何ができるのかを模索していきたい。高校生にとって、湖西市に活躍の場があるといいと思う。市からの依頼は小中に偏りがちだったが、今後依頼する際に高校にもお願いしていきたい。
- ・湖西市の「少年少女発明クラブ」の指導員は、高齢な方が多い。今後高校生にも指導の協力をしてもらえると、教わるクラブの子供たちにとっても、教える高校生にとってもよいことではないかと感じる。
- ・通学マナーについては、昨年度よりもよくなっていると感じている。最近では駅前で見えなくなることがなくなった。今後も駅でやれる指導をしていきたい。こちらの要望としては、生徒から見た駅員の姿等評価をしてもらったり、仕事を見てもらい仕事に興味をもってもらったりという機会を提供したい。
- ・子供の数が減っており寂しく感じる場所がある。私立の高校へ入学を希望する生徒が増えつつある中、湖西高校で特色を打ち出して、入学したい生徒が少しでも増えることを期待する。
- ・湖西高校が目指すコミュニティスクールについてや、地域との連携でやれることを明確化することが、第一歩だと思う。例えば、特色ある文化部の発表会等やれば地域の人が聞きに来てくれればそれが交流の一歩となる。「放課後倶楽部」のような仕組みを作り小学生と触れ合う機会を作ることもいいと思う。そのような活動の中で、地域との連携を深め、進むべき方向性を共有し、目指すコミュニティスクール像を確立していくことが大切だと思う。

(4) 意見交換(学校側からの質問に委員が回答)

Q1：最近、頭髪指導や服装指導等について、保護者の同意を得ることが難しいことなどが増えてきているが、地域や社会から見て、高校生の頭髪や服装をどのようにとらえているか、もしくはどのようなものが望ましいのか、意見や感想を聞かせてほしい。

A：・服装等は厳しかったが、最近は甘くなっているような気がする。私服通勤や草履での通勤等が見たりする。わが社も髪型は坊主はだめだったが、最近は短い髪の毛もOKになってきている。最近の流れからすると、個性を多少尊重することも大切かもしれないと感じている。

・会社に服装マナーはあるが、最近は多様性や価値観に合わせるようになってきている。社会に逸脱するようであれば、多少合わせることも必要かもしれない。とても難しい問題だと思う。

- ・流行はあるが、やっていいことについては不変である。それをどのように伝えていくかがポイントだと思う。自分の学校に自信が持てるような学校になれば、何か一つ大きく伸びることがあれば学校の雰囲気が大きく変わっていくと思う。
- ・企業が求める人材については、いきなり高いスキルを求めているのではなく、挨拶ができたり、コミュニケーションが取れたり、「ハウレンソウ」(報告・連絡・相談)ができる子であることがまずは大切だと思う。
- ・わが社も今年、挨拶運動を始めた。挨拶は大事だということだと思う。併せて、今の子供たちには自主性がない。自分の考えがキチンといえることが大切だと思う。
- ・高校生の子供を持つ一保護者として言わせてもらえれば、今の指導でいいのではないかと思う。第一印象でその子がどんな子かを判断することを考えると、高校生の間は多少制限があっても仕方がないと思う。周りからどのように見られるか等を教えていってあげるといいと思う。

Q2：小学校、中学校、高校で気楽に参観しあう等交流を進めるため、これを機に、教育に関する協議会を設立したいと考えているが、いかがなものか？

- A：・以前にそのようなことを実施していたと思うが、いつの間にかなくなってしまった。可能であるならば高校での参観等させていただくことから始めていきたい。一年に数回できればと思います。
- ・合同の研究会等取り組んでいくための投げかけをしていくことも大切だと思う。
 - ・ZOOM等遠隔機器を使っでの意見交換をしていってもいいのではないか。
 - ・湖西市の教育会館等使用することや小中の研究発表会等に参加させていただくこともよい試みになると思う。